

令和2年4月15日

関係各位

若葉カップ全国小学生バドミントン大会
大会会長 中小路 健吾
実行委員会会長 山本 和紀
(公印省略)

第36回若葉カップ全国小学生バドミントン大会の中止について

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、標記の大会について、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、大会を中止にいたします。来場される方々、参加選手、大会役員の健康と安全を最優先に考えた結論です。ご理解のほどよろしくお願ひします。

去る2月には、厚生労働省からイベントの開催に関する国民へのメッセージが出され、その後、特定の都道府県知事からは何度となく会合や移動の自粛の要請がありました。

去る4月7日には、政府から緊急事態宣言が発効され、7都府県を対象に外出自粛と移動制限する旨の要請が出され、都市部に隣接するその他の都道府県においても、知事が同様に要請を出しております。

また、開催地である本市においても、感染者がこれまで5例目まで確認されており、予断を許さない状況にあることは間違いなく、その終息も予測がつかない状況であります。

そのような中で、本市教育委員会と京都府バドミントン協会そして長岡京市スポーツ協会の3者による大会実行委員会で協議を行い、中止の判断に至りました。

これまで本大会の開催に向けて準備を進めていただいた関係各位には、誠に申し訳ございませんが、趣旨をご理解いただきますようお願いいたします。

来年、コロナウイルスに対して克服でき、オリンピック直前のバドミントン大会として、開催させていただきたいと考えております。

今後とも引き続き、本大会の発展に対し、なお一層のご支援とご協力をいただきますようよろしくお願ひいたします。